

2016年4月
1098号

万葉

Manyō

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

市川房枝記念会女性と政治センター女性参政70周年記念事業シンポジウム ～女性は政治を変えられるか～

4月18日、公益財団法人 市川房枝記念会女性と政治センター主催の女性参政70周年記念事業シンポジウムに参加してまいりました。

(公財) 市川房枝記念会女性と政治センター
女性参政70周年記念事業

女性は 政治を 変えられるか

2016.4.18 (Mon) 13:00-16:45 (12:30 開場)

会場：憲政記念館講堂 千代田区永田町1-1-1 ☎03-3581-1651

基調講演

「政治を担う女性たちよ、
荒れ野で叫ぶ声たるべし」

浜 矩子 (同志社大学大学院教授)

2016年4月10日は、日本で女性が参政権を獲得して最初の投票をしてから70年の日になります。戦前から市川房枝たちが進めてきた婦人参政権獲得運動が実って、男女の参政権には全く差別がなくなりました。しかし70年たって、日本の女性国会議員は衆議院で9%、参議院で15%に過ぎません。これは世界の国々で衆議院では154位という驚くべき少なさです。女性の総理大臣もまだ出ていません。女性が輝く時代とか一億総活躍時代が叫ばれている中で、世界に大きく遅れています。これでは政治に女性の声が届きにくいばかりでなく、日本の政治自体が歪んでしまいます。どうすれば女性議員の数を増やして政治を変えられるでしょうか。現職の女性国会議員の方々に率直にお話を伺いながら、明日の政治の手掛かりを見つけたいと思います。女性も男性も、お誘いあわせの上お出かけ下さい。

当日の資料も、大変にインパクトあるものでした。



全国から寄せられたメッセージ中から 19 団体が掲載されました。一冊の会も掲載されました。

がりっと平等・秋田、高齢社会をよくする女性の会、女性と人権全国ネットワーク、一票で変える女たちの会、

NPO 法人 m ネット・民法改正情報ネットワーク、全国地域婦人団体連絡協議会、全国フェミニスト議員連盟、(公財) 日本キリスト教婦人矯風会、

特定非営利活動法人日本 BPW 連合会、NPO フィフティ・ネット、北京 JAC、(公財) 日本女性学習財団、一般社団法人日本女性科学者の会、

日本婦人有権者同盟、婦人国際平和自由連盟日本支部

一冊の会

世界は123年前ニュージーランドにおいて女性参政権を確立。日本は70年前、戦前からの汗の結晶が実り女性の権利の難関を突破。私たちは20年前「初の女性参政権行使」の調査をして市川基金を頂戴。関わった参加者が男女共同参画社会推進を地域で研鑽。女性の地位向上を願い「持続可能な開発の為の2030アジェンダ」を努力中。市川先生に感謝。(代表 大槻明子)

一般財団法人 WIN WIN

政治に加えて民間の組織においても決裁権限のあるポジションに就く女性が増えるためには、女性自身がリーダーシップを発揮し、変革に挑戦して、勝ち取るという気構えが大切です。世論は女性にとって追い風になってきています。声を上げ、共に行動しましょう。(代表 赤松良子)

クオータ制を推進する会 (Qの会)

私たちは、政治の分野におけるクオータ制を推進するための活動をしています。日本の衆議院女性議員比率9.5%は、世界平均22.9%の半分にも届かず、OECD加盟34カ国中でも最低です。各政党が女性の候補者割合を高め、女性議員を増やすよう、クオータ制の導入を呼びかけていきましょう!! (代表 赤松良子)

国際女性の地位協会

女性参政権70周年にあたり、その実現に向けて心血を注がれた市川房枝先生の先見と行動力に改めて感謝いたします。また先生は、早くから女性差別撤廃条約の重要性を世に訴え、日本の署名に奔走されました。私たち国際女性の地位協会は「権利の上に眠るな!」の遺訓を肝に銘じ、条約が真にジェンダー平等に役立つよう、今後とも努力していくことをお誓いいたします。(代表 山下泰子)

シンポジウムは、市川房枝先生のレコード「婦選の話」のDVD上映に始まり、引き続きの基調講演は浜矩子^{のりこ}さん。テーマに沿って、まずエコノミストとしてアベノミクスの真相を語った。そして、キリスト教旧約聖書のイザヤ書を引いて、体制に流されるのではなく自らの信念を貫き通す警告者であってほしいこと、その声は「王様は裸だ」と宣言できる人として、力弱い人たちとされているこの声が必要であり、弱者のために叫び、人のために泣ける声を、と痛烈に訴えた。

各政党の女性国会議員によるシンポジウム「女性は政治を変えられるか」では、各政党の代表が女性議員をどうしたら増やせるか、など熱く語った。コーディネーターは堂本暁子さん(元参議院議員・元知事)。会場内では「女性参政権のあゆみ展」も行われ、全国から集った人で満席でした。



堂本暁子さんと大槻会長



文責：大槻、小山 協力：赤田